

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 清水 正 人

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857) 27-5566



清水 委員長

●清水委員長挨拶
本日の執行委員会の主な議事は、令和7年度事業報告及び収支決算の承認、日本医師連盟医政活動研究会

執行委員会 of 主な議事の概要は次のとおり。

鳥取県医師連盟は、7月30日、鳥取県医師会館において執行委員会を開催し、医師連盟人事、令和7年度事業報告・収支決算を承認したほか、4月26日、東京で開催された「日本医師連盟医政活動研究会」の報告を行った。

『令和7年度事業報告・収支決算を承認』 執行委員会

並びに執行委員会の出席報告等である。

2日前に日医連執行委員

会が開催され、松本委員長が再選となった。今後、次の参議院選挙に向けて、日

医連の組織内推薦候補者の公募を実施し、慎重に選考を進めたうえで、今秋を目

途に組織内候補者を決定していく方針が示された。

次の参議院議員選挙は、2年後の令和10年7月であ



会場

る。さらに組織力を上げていかなければいけないと自覚している。引き続き、先生方もよろしく願います。

●議事

○役員人事

今般、鳥取県医師会並びに地区医師会において役員改選が行われたことから、本医師連盟の役員人事について別表のとおり決定した。また、入江宏一先生、長田昭夫先生、魚谷 純先生、渡辺 憲先生（いずれ

も本医師連盟委員長経験者）、藤井一博先生（参議院議員）を顧問として委嘱した。

○日本医師連盟執行委員の推薦
本連盟より2名選出することから、清水委員長、瀬川副委員長を推薦した。

○令和7年度事業報告

令和7年度の主な事業報告について瀬川副委員長より説明があった。詳細については別記のとおり。



瀬川 副委員長

○令和7年度収支決算承認

令和7年度収支決算で

鳥取県医師連盟役員・執行委員等名簿

[敬称略]

令和 8 年 7 月 30 日 決定

役職名	氏 名
委 員 長	清 水 正 人
副 委 員 長	瀬 川 謙 一
常任執行委員	辻 田 哲 朗
	石 谷 暢 男
	安 梅 正 則
	藤 瀬 雅 史

執 行 委 員 (東部 8 名)	岡 田 克 夫	秋 藤 洋 一
	尾 崎 眞 人	藤 田 光 宣
	松 田 裕 大	池 田 須 竹
(中部 6 名)	松 田 隆	福 嶋 寛 子
	野 口 圭 太 郎	岡 田 耕 一 郎
	明 島 亮 二	宮 崎 聡 帆
(西部 10 名)	三 上 真 顯	來 間 美 帆
	山 崎 大 輔	服 岡 泰 司
	長 田 郁 夫	仲 村 広 寿 彦
	安 達 敏 明	瀧 田 智 裕
	越 智 寛	木 下 智 裕
業 務 委 員 (会計責任者)	秋 藤 洋 一	
業 務 委 員 (会計責任者職務代行者)	岡 田 克 夫	
業 務 委 員 (会計監督者)	尾 崎 眞 人	服 岡 泰 司

顧 問	入 江 宏 一	長 田 昭 夫
	魚 谷 純	渡 辺 憲
	藤 井 一 博	



会計報告
秋藤 会計責任者

は、秋藤会計責任者より説明があり、尾崎会計監督者から適正である旨の監査報告があつた後、賛成多数で決算が承認された。詳細は別記のとおり。

令和 8 年度の地区連絡費は、令和 7 年度と同様に負担金納入額の 20% を地区医師連盟ごとに会員数を按分して交付することを決定した。

○令和 8 年度地区連絡費



監査報告
尾崎 会計監督者



会場

令和 7 年度鳥取県医師連盟の事業概要

[敬称略]

1. 鳥取県医師連盟関係

■執行委員会

<第 1 回>

日 時 令和 7 年 7 月 31 日 (木)

場 所 鳥取県医師会館

- 議 事 ①令和 6 年度事業報告について
②令和 6 年度収支決算承認について
③第 27 回参議院議員選挙結果、総括について

■拡大常任執行委員会 (理事会後)

<第 1 回>

日 時 令和 7 年 4 月 10 日 (木)

場 所 鳥取県医師会館

- 議 事 ①かまやちさとし「サポーター名簿獲得状況」「LINE 登録状況」について
②第 27 回参議院議員選挙における推薦候補者との政策協定の締結について

< 第 2 回 >

日 時 令和 7 年 5 月 29 日 (木)

場 所 鳥取県医師会館

- 議 事 ①令和 7 年度負担金の徴収について
 ②かまやちさとし「サポーター名簿獲得状況」「LINE 登録状況」について
 ③第 27 回参議院議員選挙対策 (かまやちさとし氏) について
 ④第 27 回参議院議員選挙鳥取・島根選挙区における推薦候補者 (出川桃子氏) への推薦状並びに政策協定等の締結について
 ⑤医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会の出席報告
 ⑥4/20 日医連医政活動研究会の出席報告
 ⑦鳥取県選挙対策本部東部地区支部長・幹事長、関係者拡大会議の出席報告
 ⑧国民医療を守る議員の会の出席報告
 ⑨5/20 日医連第 5 回拡大選挙対策会議並びにかまやちさとし決起大会の出席報告
 ⑩参議院議員「自見はなこ政策セミナー」の出席報告
 ⑪東部女性のつどいの出席報告
 ⑫日医連事務局・都道府県医師連盟事務局会議の出席報告
 ⑬衆議院議員「赤沢りょうせい政経セミナー」について

< 第 3 回 >

日 時 令和 7 年 6 月 19 日 (木)

場 所 鳥取県医師会館

- 議 事 ①6/17 日医連第 6 回拡大選挙対策会議の出席報告
 ②かまやちさとし「サポーター名簿獲得状況」「LINE 登録状況」について
 ③かまやちさとし支援活動における担当都道府県議会議員等との連携について
 ④第 27 回参議院議員選挙対策について
 ⑤東部地区選挙対策本部 地域支部長・

幹事長・職域支部長、関係者拡大会議の出席報告

- ⑥7/31 鳥取県医師連盟執行委員会の開催について

< 第 4 回 >

日 時 令和 7 年 7 月 17 日 (木)

場 所 鳥取県医師会館

- 議 事 ①第 27 回参議院議員選挙対策について

< 第 5 回 >

日 時 令和 8 年 2 月 19 日 (木)

場 所 鳥取県医師会館

- 議 事 ①日医連「常任執行委員会」「執行委員会」の出席報告
 ②第 51 回衆議院総選挙結果について

2. 日本医師連盟関係

■日医連常任執行委員会

< 第 1 回 >

日 時 令和 7 年 8 月 19 日 (火)

場 所 日本医師会館

出席者 清水委員長

- 議 事 ①日医連人事について
 ②第 27 回参議院選挙について
 ③令和 7 年度日医連交付金について

< 第 2 回 >

日 時 令和 8 年 1 月 20 日 (火)

場 所 日本医師会館

出席者 清水委員長

- 議 事 ①令和 6 年度日医連収支決算報告について
 ②令和 8 年度日医連の負担金基準額について
 ③衆議院選挙について

■日医連執行委員会

<第 1 回>

日 時 令和 7 年 8 月 19 日 (火)

場 所 日本医師会館

出席者 清水委員長 (日医連常任執行委員)、
渡辺顧問 (日医連会計監督者)、
事務局随員：岡本

議 事 ①日医連人事について
②第 27 回参議院選挙について
③令和 7 年度日医連交付金について

<第 2 回>

日 時 令和 8 年 1 月 20 日 (火)

場 所 日本医師会館

出席者 清水委員長、渡辺顧問、事務局随員：岡本

議 事 ①令和 6 年度日医連収支決算報告について
②令和 8 年度日医連の負担金基準額について
③衆議院選挙について

■日医連医政活動研究会

日 時 令和 7 年 4 月 20 日 (日)

場 所 ステーションコンファレンス東京

出席者 清水委員長、瀬川副委員長、渡辺顧問、
事務局随員：岡本

議 事 ①医政活動の重要性－参議院議員選挙について (茂松副委員長)
②社会保障制度について (木原衆議院議員)
③今後のかまやちさとし後援会活動について (城守常任執行委員)
④各地の活動 (福岡県医師連盟、群馬県医師連盟)
⑤決意表明 (かまやちさとし)
⑥がんばろうコール (須藤群馬県医師連盟委員長)

■日医連拡大選挙対策会議

<第 5 回>

日 時 令和 7 年 5 月 20 日 (火)

場 所 日本医師会館

出席者 清水委員長、渡辺顧問、事務局随員：岡本
議 事 ①2025 年参議院選挙について

<第 6 回>

日 時 令和 7 年 6 月 17 日 (火)

場 所 W e b

出席者 清水委員長、事務局：岡本

議 事 ①日医連からの連絡
・病院団体への働きかけのお願い
・公示日後の活動展開
・かまやち応援グッズの活用
・選挙はがき、法定ビラ、選挙ポスター

<第 7 回> (都道府県医師連盟・郡市区医師連盟 拡大選挙対策会議)

日 時 令和 7 年 7 月 8 日 (火)

場 所 W e b

出席者 清水委員長、石谷東部医師連盟委員長、
藤瀬西部医師連盟委員長、事務局：岡本

挨 拶 木原誠二自由民主党選挙対策委員長

決意表明 かまやちさとし

議 事 ①サポーター名簿回収、LINE 登録状況
②かまやちさとし参議院議員選挙に向けた最後のお願い
③選挙ビラの活用について
④選挙区候補者の支援について

■かまやちさとし決起大会

日 時 令和 7 年 5 月 20 日 (火)

場 所 日本医師会館

出席者 清水委員長、渡辺顧問、事務局随員：岡本

議 事 ①決意表明
②ガンバローコール

■かまやちさとし先生出陣式

日 時 令和 7 年 7 月 3 日 (木)

場 所 日本医師会館

出席者 清水委員長

■日医連事務局・都道府県医師連盟事務局会議

日 時 令和 7 年 5 月 26 日（月）

場 所 W e b

出席者 事務局 岡本、山本、神戸、高岸

議 事 ①日医連からの連絡（選挙はがき、法定
ビラ、選挙ポスター等）
②各地の状況の確認（チェックリストの
実施状況）

■医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会

日 時 令和 7 年 4 月 18 日（金）

場 所 自民党本部

出席者 清水委員長

■自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会」

<第 1 回>

日 時 令和 7 年 5 月 14 日（水）

場 所 衆議院第一議員会館

出席者 清水委員長、事務局随員：山本
※鳥取県選出の自民党国会議員 5 名に出
席要請を行った。

議 事 骨太の方針 2025 に向けて

<第 2 回>

日 時 令和 7 年 12 月 2 日（火）

場 所 衆議院第一議員会館

出席者 清水委員長、事務局随員：岡本
※鳥取県選出の自民党国会議員 6 名に出
席要請を行った。

議 事 診療報酬改定に向けて

■医療・介護・各種団体緊急総決起大会

日 時 令和 7 年 7 月 8 日（火）

場 所 国際医療福祉大学赤坂キャンパス講堂

出席者 事務局 山本

3. 選挙関係

■第 27 回参議院議員通常選挙

（令和 7 年 7 月 20 日施行）

【鳥取・島根合区】

投票率 鳥取 55.04% 島根 59.57% 合区計 57.51%
（前回 52.99%）

	鳥取	島根	計
出川桃子（自民） 当選	130,552	158,698	289,250
中山 集（国民）	46,570	73,518	120,088
倉井克幸（参政）	36,471	47,927	84,398
亀谷優子（共産）	19,448	28,306	47,754
谷口直矢（N 党）	4,090	3,862	7,952
計	237,131	312,311	549,442

【比例区】

	鳥取	全国	備 考
舞立昇治（自民）	—	—	自民党特定枠 第 1 位 当選
かまやちさとし（自民）	956	174,434	自民党第 8 位 当選 （当選は 12 議席）

■自由民主党総裁選挙（令和 7 年 10 月 4 日投票）

（敬称略）

<決選投票結果>

	議員票	都道府県票	計
高市早苗 選出	149 票	36 票	185 票
小泉進次郎	145 票	11 票	156 票
計	294 票	47 票	341 票

※令和 7 年 10 月 21 日、石破内閣は総辞職した。首相在職日数 386 日、期間としては戦後 24 番目であった。同日、高市自民党総裁は、衆参両院本会議の首相指名選挙で第 104 代首相に選出され、自民党と日本維新の会の連立による高市内閣が発足した。女性首相は憲政史上初めてで、新内閣では、赤沢衆議院議員が経済産業大臣に、舞立参議院議員が財務副大臣に任命された。

■第51回衆議院議員総選挙（令和 8 年 2 月 8 日施行）

投票率 56.26%

【鳥取 1 区】 投票率46.05%		
石破 茂（自民）	66,146	当選（得票率67.49%）
谷川裕美（国民）	13,364	
豊 哲也（参政）	11,734	
塚田成幸（共産）	6,768	
計	98,012	

【鳥取 2 区】 投票率49.29%		
赤沢亮正（自民）	67,736	当選（得票率62.30%）
湯原俊二（中道）	36,132	
福住英行（共産）	4,862	
計	108,730	

※令和 8 年 2 月 18 日、高市自民党総裁は、特別国会において第 105 代首相に選出され、自民党と日本維新の会の連立による第 2 次高市内閣が発足した。閣僚は、全員が再任し、令和 7 年 10 月に発足した第 1 次内閣と同じ顔ぶれであった。赤沢経済産業大臣、舞立財務副大臣も再任された。

4. 参議院議員選挙対策

○自民党鳥取県支部連合会東部地区支部長・幹事長・関係者拡大会議

令和 7 年 4 月 30 日、白兔会館において開催され、岡本事務局長が出席した。議事として、第 27 回参議院議員選挙について協議が行われた。鳥取・島根選挙区では、出川桃子参議院議員選挙公認候補者が勝利するため、組織を確立し、万全な体制で取組むことを確認した。

同日、出川桃子氏が清水委員長に立候補の挨拶、支援要請のため、県医師会館に来館された。その際、森本島根県医師連盟委員長も同席され、鳥取県内における参議院議員選挙への協力依頼がなされた。

○自民党鳥取県議会議員への支援要請

自民党本部より、医師連盟推薦の自民党の立候

補予定者について、「県議会議員が分担して応援すること」との指示があった。これを受けて、令和 7 年 6 月 10 日、清水委員長が川部 洋議員（倉吉市選挙区）と面談し、かまやちさとし先生への支援を要請した。

○東部女性のつどい

令和 7 年 5 月 24 日、白兔会館において開催され、岡本事務局長が出席した。来賓挨拶（舞立・藤井両参議院議員、浜崎県議会議長）の後、自民党島根参議院選挙区第 5 支部長（鳥取県・島根県）出川桃子氏より挨拶があった。

○参院選必勝決起大会・自民党鳥取県連大会

令和 7 年 6 月 22 日、とりぎん文化会館において開催された。参院選必勝決起大会では、鳥取・島根選挙区に立候補する出川桃子氏の支持拡大に向けて氣勢が上げられた。舞立参議院議員（特定枠）、藤井参議院議員も出席され、最後に「ガンバローコール」を唱和して必勝を期した。

また、自民党鳥取県連大会では、赤沢経済再生担当大臣、青木官房副長官も出席され、本年度の運動方針など 4 議案を可決したほか、合区解消を求める特別決議が採択され、石破首相からもビデオメッセージが寄せられた。

5. その他

○「かまやち さとし」氏のポスターを県医師会館内に設置

○広報活動としてリーフレット「医師連盟 TOTTORI」の発行

1 回（第 44 号：令和 7 年 9 月 1 日）発行した。

○自見はなこ政策セミナー

①令和 7 年 5 月 20 日、ホテルニューオータニ東京において開催され、清水委員長、渡辺顧問、岡本事務局長が出席した。当日は、国政報告、講演「全世代型社会保障の充実に向けて～物価・賃金上昇の対応の実現へ～」が行われた。



②令和 7 年 11 月 18 日、ホテルルポール麹町において開催され、国政報告、講演「全世代型社会保障の充実に向けて～物価・賃金上昇の対応の実現へ～」が行われた。

③令和 8 年 4 月 21 日、ホテルルポール麹町において開催され、講演「成長分野『創薬』背景と目指すもの（橋本岳衆議院議員）」、国政報告が行われた。

○赤沢りょうせい政経セミナー

①令和 7 年 5 月 22 日、ホテルルポール麹町において開催され、時局講演が行われた。

②令和 8 年 4 月 20 日、ホテルルポール麹町において開催され、時局講演が行われた。

○在職 20 周年 赤沢りょうせい君を励ます会

発起人の 1 人に清水委員長が就任した。令和 7 年 12 月 6 日、皆生グランドホテル天水において開催された。

○自民党政調全体会議

日医連からの要請に基づき、令和 8 年度予算編成に向けて令和 7 年 6 月 9・10 日に開催された自民党政調全体会議に鳥取県選出の 5 人の自民党国会議員に会議出席と、病院・診療所の厳しい経営実態を伝え十分な原資を得るため、「骨太の方針 2025」への書込みを主張いただくよう、令和 7 年 6 月 5 日付けで要請の書面を送付した。

○O T C 類似薬および医療機関の苦しい経営状況について

日医連からの要請に基づき、令和 7 年 9 月 9 付けで鳥取県選出の 6 人の国会議員に資料をつけて要望書を送付した。

○令和 7 年度補正予算に向けて地元自民党国会議員への働きかけについて

令和 7 年 11 月 14 日、日医連から地元選出の自民党国会議員に令和 7 年度補正予算に向けて働きか

けをするよう要請があった。資料「日本医師会の主張」を鳥取県選出の地元の 6 人の自民党国会議員に送付し、清水委員長が支援要請を行った。

○石破しげる国政報告会

令和 7 年 11 月 22 日、白兔会館において開催され、岡本事務局長が出席した。渡辺後援会長、平井知事、藤井・出川両参議院議員の挨拶の後、石破代議士より首相在任中の活動を含め、首相退任後初の国政報告が行われた。

○藤井参議院議員が森本島根県医師会長に挨拶

令和 7 年 12 月 6 日、藤井参議院議員が森本島根県医師会長以下役員へ挨拶に行った。

○自民党「社会保障を守る会緊急集会」

令和 7 年 12 月 18 日、自民党本部において自民党国会議員及び医療・介護・福祉関係団体が参集し、2026 年度診療報酬改定で大幅なプラス改定を求める決議を取りまとめ、同日、高市首相に提出した。800 人以上が出席し、1,100 人以上がライブ配信で見守り、改定率の決着を前に関係者が最後の訴えをした。本連盟から地区医師連盟にも案内し、当日は清水委員長、事務局がライブ配信を視聴した。

○自民党鳥取県第一選挙区支部東部地区支部長・幹事長・職域支部長、石破しげる後援会合同会議

令和 8 年 1 月 24 日、白兔会館において開催され、岡本事務局長が出席した。渡辺後援会長の挨拶の後、舞立参議院議員財務副大臣、藤井参議院議員から来賓挨拶があり、その後、石破 茂氏より第 51 回衆議院議員総選挙について協力依頼がなされた。

○鳥取市長選挙への推薦について

令和 8 年 3 月 29 日に投開票が行われた鳥取市長選挙において、深沢義彦氏を推薦した。

[以上]

日本医師連盟 医政活動研究会

4月26日(日) ステーションコンファレンス東京において開催され、清水委員長、瀬川副委員長が出席した。瀬川副委員長より資料をもとに説明、伝達を行った。当日は、茂松茂人日医連副委員長の司会で開会。松本吉郎委員長、自見はなこ参議院議員、かまやちさとし参議院議員から挨拶があった後、講演4題(うち都道府県医師連盟からの活動報告2件)が行われた。

1 挨拶

○松本吉郎日医連委員長

本日は出席賜り感謝申し上げます。また、日頃から日本医師連盟の運営に特段の理解と支援をいただいていることに、改めてお礼申し上げます。

7月の参議院選挙および10月の衆議院選挙での自民

党勝利を受け、補正予算では医療関連で1・4兆円(うち医療単独で1兆円超)が確保された。診療報酬は3・09%のプラスとなり、インフレ下での「道しるべ」となる極めて重要な改定となった。今後も物価高騰や中東情勢の影響から医療材料などの医療危機も迎えており油断できない状況ではあるが、医政活動をしっかり行ってきた日本医師連盟の力を示した結果である。

審議中の憲法改正法案には、OTC医薬品への自己負担追加や出産費用の無償化が含まれている。OTC医薬品の保険適用除外は阻止されたが、患者の自己負担は増加した。今後、詳細な議論が行われる際には可能な限り追加負担の発生を防げるよう主張していく。標準的な出産費用の無償化については、高市総理と面談し、国の対応を要請した。安全で質の高い周産期医療提供体制の確保のため、具体的な給付水準が今

後の重要な課題となるため、しっかりと取り組んでいきたい。

組織強化については、継続的な取り組みにより日本医師会の会員数は過去最高の17万8500人を記録した。一方で、A1会員はこの十数年で約3000人減少しており、医師会および医師連盟の財政と運営に影響を及ぼす大きな課題となっている。これは日本医師会、都道府県医師会、郡市区医師会が一体となり共通の課題として取り組まなければならぬ。先生方にも協力をお願いする。私たちの立場を訴えていくためには政治活動にしっかりと取り組んでいく必要がある。本日の講演で政治活動等の理解を深めていただきたい。本日はよろしくお願い申し上げます。

○自見はなこ参議院議員

全国の先生方が一堂に会しているこの場にお招きいただき、感謝申し上げます。昨年の参議院選挙および衆

議院選挙では、先生方が国会議員や自民党支部長の事務所を訪ね、後援会活動を推し進めてくださったことにより、自民党の骨太方針策定での医師連盟活動の成果を高く評価していただいた。重ねてお礼申し上げます。

様々な課題が山積している中ではあるが憲法改正において、出産費用の保険適用に関する金額を勝ち取るため努力したい。また、医療物資の供給不足に対しても政府が専門チームを設置して対応しているところである。医療現場で物資不足とならないよう引き続き全力で取り組んでいきたい。

○かまやちさとし参議院議員

本日は参加させていただき感謝申し上げます。令和7年度補正予算と令和8年度予算で診療報酬と介護職員の処遇改善が盛り込まれたが、「現役世代の社会保険料を上げない」という制約の中での成果であった。医療機関や介護施設の持続可能性確保のため、引き続き

努力していきたい。

また、医師の地域偏在や診療科偏在は大きな課題である。一方で地域により事情が異なることから、一律の解決は難しいと考える。人口減少の中で医学部志望者も減少しているが、他職種との全体のバランスを考慮した上での医師の養成が必要である。医師としてのこれまでの経験を活かしつつ、良い方向を目指していきたい。皆様からの支援・指導が不可欠であるため、引き続きよろしくお願い申し上げます。

2 講演

(1)「参議院議員選挙における活動報告」

群馬県医師連盟

須藤英仁委員長

釜谷候補の選挙活動において、群馬県医師連盟の須藤委員長から、①知事や県議会議員、市議会議員と連携した組織体制の構築、②合同同窓会の開催、③女性部の設立、④徹底した「拠点づくり」などの取り組み

について報告があった。

①地域の特性に応じた組織体制の構築として、群馬県医師連盟では各郡市区で医師会長をトップに置き、顧問県議団、市会議員、役員参加の下、組織の作り直しを行った。できるだけ多くの人の参加を目指し、県議会議員や市議会議員との意見交換を日頃から緊密に行うことが重要である。②

では群馬県医学部合同同窓会を開催し、約40大学215名が参加した。③女性部の設置により、女性のコミュニケーション能力や選挙戦の証紙貼り、はがきの宛名書きなど各種準備で力を発揮していただいた。④遊説の際の拠点づくりに力を入れ、人を集めることが重要であると強調された。

また、サポーター名簿について、使用目的を明確にする必要がある。サポーター名簿に協力いただいた方に対し、お礼状を発送したことも効果的であったと述べた。

「選挙の借りは選挙で返

す」姿勢を念頭に、日頃の活動と義理と人情が不可欠であるという「どぶ板選挙」の原点を示し統括が行われた。

(2)「衆議院議員選挙における活動報告」

奈良県医師連盟

安東範明委員長

奈良県医師連盟の安東委員長から自民党総裁選の活動報告が行われた。高市早苗議員を総理大臣にするべく、「高市早苗関西総決起大会」を開催した。高市氏は医療・福祉の現状について深い理解を示し、医療現場の危機にも耳を傾け、総理大臣になった際には医療現場を救う補正予算を組むことを明言したと説明があった。

奈良県は1区、3区の小規模選挙区であるが、中でも激戦区と予測された1区に医師連盟として全精力を傾け、早い段階で当選確実となった。県全体で応援体制を組み、選挙事務所でのポスター証紙貼りや徹底し

た電話作戦を行ったと述べた。

日頃から顔の見える関係を築く泥臭い活動や、県議会議員との意見交換会が重要である。奈良県医療会支部（奈良県医師連盟）は優秀党表彰を受賞し、士気が高まったと報告があった。

(3)「政治活動等について」

自由民主党顧問弁護団

代表 橋爪雄彦弁護士

後援会名簿を活用したハガキ送付や電話作戦に加え、選挙開始前に直接訪問を重ねる「どぶ板選挙」が票に繋がると強調された。また、SNSを活用した選挙活動は「切り抜き動画」と「インフルエンサーによる拡散」で過激な意見が広まりやすい課題がある。

組織票を固めることが重要であり、業者への動画制作依頼が買収にあたらないよう、自民党提供の「コンテンツ作成指示書」を活用し、適切な契約を結ぶ必要があると解説された。

令和8年1月に施行された改正法により、政策活動費などの政治資金に関するルールが変更になった。「渡し切り」支出が禁止され、使途の明確化が必要となる。ただし、客観的基準に基づく各団体の既存の「旅費規程」は、この禁止規定には該当しないことが総務省との協議で確認されたとの説明があった。

(4)「医療DXとサイバーセキュリティ」

松本尚デジタル大臣

医師でありデジタル大臣である松本氏から医療DXの進め方について、電子カルテ、情報連携、将来展望の観点から講演が行われた。電子カルテについては、未導入の診療所（45%）や200床未満の病院（40%）に対し、標準型電子カルテの普及を進める。特に継続意欲のある医療機関を優先し、既存のオンライン型はクラウドネイティブ型への移行を促す。業務をシステムに合わ

せる標準化が不可欠と強調された。情報連携では、電子処方箋や電子カルテ情報共有サービスを普及させ、医療機関間のデータ連携（横のつながり）を強化する。将来展望についてはAIによる手術支援や診断、ドローンによる薬品配送など、DX技術で医療アクセスを補完する未来像が示された。特に石川県の奥能登で先進モデルを構築する構想が語られた。

また、医療DXが広がっていく中で、オンライン資格確認の導入により、全医療機関がネットワークで接続されるため、サイバーセキュリティ対策が急務となる。パスワードの使い回しを避ける、システムを最新に保つなど、日常的な「サイバーハイジーン（サイバー衛生管理）」に取り組む、防衛力を高めることが不可欠であると強調された。

令和 7 年度鳥取県医師連盟収支決算報告書

【収入の部】

(単位：円)

款	項	収入額	摘 要
1. 会 費 (35.05%)		10,657,500	
	1. 会 費	10,657,500	
	2. 特 別 会 費	0	
2. 寄 付 金 (10.05%)		3,055,500	交付金 2,082,000円 (日医連負担金の30%バック) 選挙にかかる交付金 973,500円
	1. 日医連寄付金	3,055,500	
3. その他の収入 (0.10%)		30,246	普通預金利息
	1. 雑 入	30,246	
4. 繰 越 金 (54.80%)		16,662,563	前年度繰越金
	1. 繰 越 金	16,662,563	
収 入 合 計		30,405,809	

【支出の部】

(単位：円)

款	項	支出額	摘 要
1. 事 務 費 (3.30%)		451,071	消耗品、口座振込手数料、送料他
	1. 一 般 事 務 費	451,071	
2. 組 織 活 動 費 (7.14%)		976,870	医師連盟執行委員会、医政活動研究会、日医連執行委員会等 政策セミナー、新春の集い等 国民政治協会費 医師連盟TOTTORI発行費 (1回)
	1. 旅 費	410,370	
	2. 会 議 費		
	3. 懇 談 会 費	352,500	
	4. 負 担 金	60,000	
	5. 広 報 費	154,000	
3. 選挙関係費 (18.27%)		2,500,000	陣中見舞 3件
	1. 寄 付 金	2,500,000	
4. 寄付交付金 (71.29%)		9,754,600	@20,000円×347人 東部 718,500円 中部 362,000円 西部 1,051,000円 (会費の20%) @2,700円×253人
	1. 日医連負担金	6,940,000	
	2. 地区連絡費	2,131,500	
	3. 支部交付金	683,100	
5. その他の経費 (0%)		0	
	1. 予 備 費	0	
支 出 合 計		13,682,541	

収支差引残額 16,723,268 円は令和 8 年度へ繰越